

研修成果の活用レポート

所属名・氏名・修了した研修名 上野原市立上野原小学校 雨宮基博 平成30年度第1回副校長・教頭等研修	応募部門名 校内研修プログラム開発・実践部門
---	----------------------------------

活動名： 上小教師力パワーアップ ～個々の教師力と学年チーム力の向上～

解決すべき課題：

- ① 新採用教諭が毎年入り、若手教員が年々多くなる状況にあった。職場内で若手教員の教育実践力を高めること、そのために学年主任等のミドルリーダーの学年経営力の向上が求められていた。
- ② 児童の問題行動に対する個々の教師の対応力、学年チームの相互援助力・問題対応力が脆弱であるため、管理職に直に問題解決支援を依頼することが多かった。
- ③ 様々な問題対応、事後対応に追われ、児童及び学級・学年集団を育成する意図的・計画的な教育実践の取り組みが脆弱であった。

目標・方針：

- ① 個々の教師力（教師倫理、授業実践力、生徒指導力、チームマネジメント力）の向上を図る。
⇒ 職場内研修（ワークショップ・小講義等）・人事評価・一人一実践の連動
- ② チーム上小構築を目指し、サブシステムである学年チーム力を高め、チーム発達を促す。そのために、学年チーム形成を促す取組及び学年主任等のマネジメント力の向上を図る。
⇒ めざすべき児童像の明確化・目的・目標・ルール共有・機能化、学年主任等のコーチング
- ③ 同僚同士でサポートし合う相互援助力の向上、学び合い・磨き合う職員集団の同僚性・協働性の醸成を図る。⇒ 学年チーム（小集団）で話し合う時間を職員会議等に設定

活動内容：

<平成30年度> 職場内研修

- ① 8月 スクール・コンプライアンスと危機の未然防止(全職員 30分)
- ② 9月 スクール・コンプライアンス(個人情報管理)事例演習(全職員 30分)
- ③ 11月 「主体的で、対話的で深い学び」の授業づくり 4年生算数科の模擬授業(若手教員 60分)
- ④ 12月 「安全・安心な学級づくり・学校組織づくり」に関するワークショップ(若手教員 60分)
- ⑤ 3月 「教師と子どもを繋ぐもの・隔てるもの」生徒指導に関する小講義(全職員 15分)

<平成31年度> 上小「教師力」パワーアップ・プラン（1年間展開 月1回実施）

- ① 4月 目的・基本ルール・全体計画の共有・教師力の自己分析(全職員 15分)(人事評価との連動)
- ② 5月 春季大運動会に向けて学級・学年の現状分析と学年チーム形成(全職員 30分)
- ③ 6月 春季運動会の成果と課題の分析と1学期のゴールに向けた目標と手立ての具体化(全職員 30分)
- ④ 7月 1学期のゴールに向けた取組の成果と課題の分析(全職員 15分)
(教えるてにくい子どもを育てる学校の力（特別支援に関する学習会講師招請 全職員 90分）)
- ⑤ 8月 (Q-Uを活用して2学期の学級経営・生徒指導の充実(Q-U学習会講師招請 全職員 90分))
2学期のスタートに向けた目標と手立ての具体化(全職員 30分)

活動の成果：

- ① 学年チームで、各時期及び各行事に対して具体的短期目標を設定し、それに基づいた具体的手立てを考えて取り組むことができるようになった。
- ② 学年チーム内の教職員同士の相互作用が増え、また、児童対応・学級指導において困ったことを率直に話をする機会も増えた。

<平成31年度 1学期末学校評価結果の自由記述より>

- ・「学年で取り組むことの大切さをチームの先生方から学ぶことができ、自分の引き出しを増やすことができた。チームで取り組むことが大切であることを実感した。」
- ・「学校経営方針をもとに教師力パワーアップ・プランの実践を、学年経営や学級経営の柱として取り組んだ。日常生活指導の質を向上させるように取り組んだ。」

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- ① 従来の研修と連関的・組織的に機能するよう再編した全体計画・目的・基本ルールを作成・共有した。
- ② 個々の教師力と学年チーム力の向上をねらい、ワークシートを作成し、研修の小グループ活動で活用した。
- ③ 各学年の取り組みを掲示したり、職員室便りに記したりして各学年間で学び合うようにした。

<平成30年度>

(資料1)スクール・コンプライアンスと危機の未然防止

(資料2)「主体的・対話的で深い学び」の模擬授業案

究極の危機管理 ⇒ 普段から組織として危機感を共有し問題発生を未然に防ぐ

チーム学校の構築(組織的に対応するため)

クライシス・マネジメント(問題解決的) ⇒ 今、起きている危機をどうするか？

責任の明確化とアクション重視
問題解決のためのチーム体制(⇒ 外部連携)

リスク・マネジメント(予防的)

ナレッジ・マネジメント(開発的) ⇒ 個人の持つ専門知識を形式知とし、知識を共有化する。
開発のためのチーム体制

※子供と保護者の生命・人権を守る。
※子供と教職員の信頼関係を維持する。
※学校に対する保護者・地域からの信頼を守る。

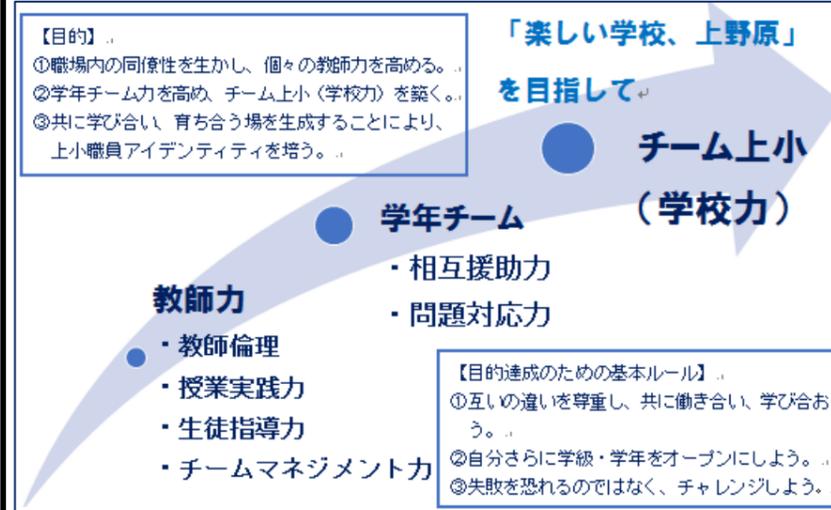
⇒ 今後起こり得る危機を回避・軽減する。
予防のためのチーム体制(⇒ 組織内連携)

展開

児童の活動及び反応	教師の発問及び指導上の留意点
3. 自分のやり方で工夫して計算する。 「1から30までの和を自分の得意なやり方で工夫して計算しよう。」	3. 自分のやり方で工夫して計算することを促す。 「1から30までの和を自分の得意なやり方で工夫して計算しよう。」
○1+2+3+4+...+30=465と順番に足してみよう。 「似ていること(違うこと)はないですか。」 (⇒類似点・相違点の明確化)	「自分のやり方でやってみよう。」(⇒個別性) 「似ていること(違うこと)はないですか。」 (⇒類似点・相違点の明確化)
○1+31=31 それぞれ30ができるから、それに30を かけて930、2で割れば求めることができる。 「この図で表された考え方を式で書いてみよう。」 (⇒図と式の関連付け)	「何をもうご考えましたか。」(⇒根拠の明確化) 「この図で表された考え方を式で書いてみよう。」 (⇒図と式の関連付け)
○1から30までの和を求めるのに、1+29=30、 2+28=30になるように足していって、30が31に できるから、30×31=930で、930を2で割れば求 めることができる。 「一番かんたんで分かりやすい方法を見つけよう。」	「Oさんの言ったこと着席の人に伝えよう。」 「一番かんたんで分かりやすい方法を見つけよう。」 「Oさんは、どうしてそう考えたのか。」
4. 一番わかりやすい方法を見つける。 「Oさんのやり方がいいと思います。」	4. 簡単でわかりやすい方法を見つける。 「みなさん、一人一人の考えがどれも正解です。では、 みなさんが考えた中で、これは自分に取入れたいと思 う、一番簡単でわかりやすい考えはどれですか。」

<平成31年度>

(資料3) 上小「教師力」パワーアップ・プランの全体図



(資料4) ワークシート

上小「教師力」パワーアップ・プランのワークシート

学校教育目標
「楽しい学校、上野原」を目指して
よく考え 進んで学ぶ子
健康で 運動を楽しむ子
思いやりがあり 助け合う子
進んで働き 終わりまでやりぬく子

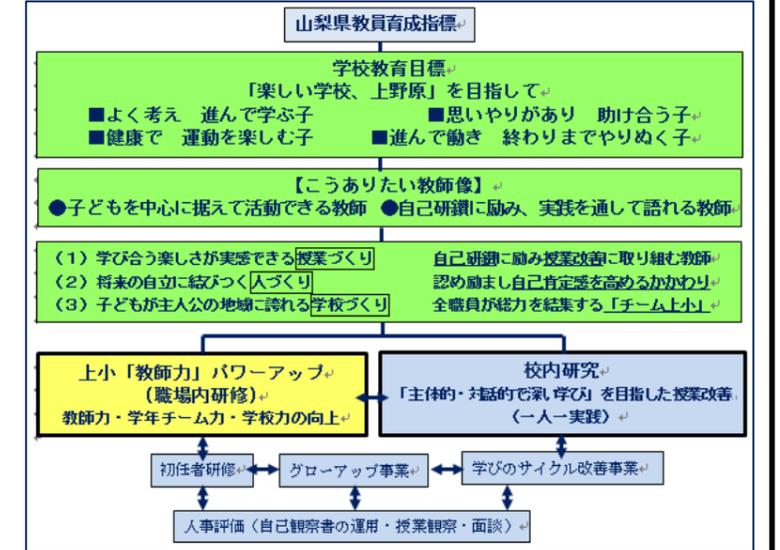
【こうありたい教師像】
●子どもを中心に据えて活動できる教師 ●自己研鑽に励み、実践を通して語れる教師

現状分析①
場所
現在のクラス 学年
期 月 日 時間 曜日

現状分析②
課題
現在のクラス 学年
期 月 日 時間 曜日

展開目標
どんなクラス 学年
期 月 日 時間 曜日

(資料5) 他の研修との関係



(写真1) 掲示物

